

■通天閣、免震改修工事完了

高さ100mの展望塔「通天閣」は、飲食店がひしめき、人通りが絶えない大阪市浪速区の繁華街「新世界」に建つ。1956年に完成した現在の塔を、竹中工務店が免震改修を実施。**展望塔の免震改修は世界で初めての取り組みだ。**

同タワーを運営する通天閣観光は、巨大地震の発生で鉄骨が変形する恐れがあることが判明した為、「**Next210(ツーテン)プロジェクト**」を立ち上げ、**免震改修工事を実施**。(「Next210(ツーテン)プロジェクト」とは、初代通天閣(1944年に解体)が建てられた1912(明治45)年から210年後に向け、登録有形文化財としての価値を維持していくというプロジェクト。)

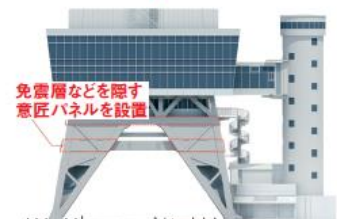
同改修は**2014年10月に着工、2015年5月1日に完成**。事業費は6億円で、**工事中も営業は継続されていた**。

通天閣で採用する免震改修では、地震時の揺れの大きさが、耐震改修を行った場合に比べて約3分の1に減る見込みだ。

塔の4本の基礎部分に地震の揺れを吸収する免震ゴムを組み入れ、直下型地震に対して地面から伝わる揺れを小さくする。**脚部の改修という最小限の工事で上部タワーをそのまま残す世界でも類をみない工事**が実施された。



■ 施工手順のイメージ



■初代通天閣の天井画を復刻

天井画は八角形で縦横が約17メートル。1944(昭和19)年に解体された初代通天閣の天井画でも広告企業だった

「クラブコスメチックス(当時は中山太陽堂)」が寄贈。日本画家の沖谷晃司さんが当時の写真などをもとに原画を制作し、印刷したフィルムを貼り付けた。**画題は「花園に遊ぶクジャク図」**で3羽のクジャクなどが描かれている。

5月23日、復刻した天井画を報道陣に公開。完成披露のセレモニーは7月3日に予定されており、現在は見る事ができないが、工事の過程で6月下旬ごろには姿を現わすという。



初代の「エントランス吹き抜け大天井」を復刻

■天下泰平の灯、400個の行灯が点灯

大坂の陣400年プロジェクト実行委員会は、2015年5月7日(木)に大坂の陣400年天下一祭 夏の陣2015「**大阪城 天下泰平の灯(ともしび)**」を**大阪城本丸広場にて開催**した。

大坂城が落城した1615年5月7日から400年というもっとも重要な日を迎えることから、戦乱の世に終わりを告げ、天下泰平の世が訪れるきっかけとなった日として企画された。

大阪への願い事を綴ったメッセージが、**大坂の陣から400年にちなみ、400個の行灯に貼り付けられ、「天下泰平の灯」として大阪城天守閣前で点灯**された。

またステージでは、大坂の陣についてのトーク&ライブや、登壇者と参加者による点灯式が行われた。

「大阪城 天下泰平の灯」開催概要

開催期間:2015年5月7日(木)~9日(土)18:00~20:00

開催場所:大阪城本丸広場

参加費:無料

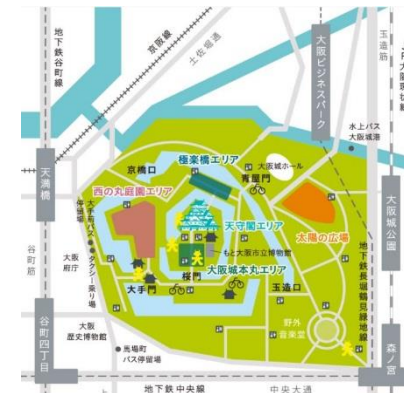
【7日】

・PR武将隊「大坂RONIN 5」演武 ・大坂の陣400年スペシャルトーク&ライブ

・点灯式

【8日~9日】

・天下泰平の灯モニュメント 点灯



■大坂の陣400年天下一祭

2014年、2015年は大坂冬の陣、夏の陣から400年を迎える節目の年。そこでこれを機に大阪の歴史や文化、まちの魅力を国内外に発信していこうと、自治体と民間事業団体等が協力し、「**大坂の陣400年プロジェクト実行委員会**」を設立。大阪城周辺、大阪全体で行われているイベント。さらに、水都大阪2015や大阪・光の饗宴、大阪マラソン等とも連携を強化して、合同プロモーション活動を展開。一大プロジェクトとなっている。

名称 大坂の陣400年天下一祭 夏の陣2015
 キャッチフレーズ 大きく夢見るまち、大阪
 主催 大坂の陣400年プロジェクト実行委員会
 コアイベント開催期間 2015年4月1日(水)~9月30日(水)
 開催場所 大阪城周辺および大阪府内各地



▼コアイベント

○**天下一の黄金の和船 大阪城御座船**

開催期間:4月25日(土)~9月30日(水)

○**夏の陣 大阪城本丸薪能**

開催期間:9月20日(日)~9月23日(水・祝)

などイベントが開催される。

5月22日(金)、ネスレ日本は日本初上陸のキャットフード「フィリックス」のテレビCMを疑似体験できるイベントを、**阪急梅田駅1階のビッグマン前広場で開催**した。

本イベントでは、**AR(拡張現実)技術**を使って、ブランドキャラクターである「デキるネコさん、フィリックス」と同じ空間にいるような体験ができる**バーチャルリアリティー体験ブース「フィリックスハウス」を設置**。室内に入ると、テレビ画面に“3Dフィリックス”が登場。オモチャを見せると近寄ってきたり、棚から箱を落とすいたずらをするなど、実際に同じ空間で生活しているような感覚になることが出来る。

開場では、参加者が司会者の案内にしたがってしばらく架空の猫とじゃれあっていると、しばらくして誰も手を触れないペットフードの箱が静かに倒れ、「えさやり体験」が始まる。司会者に促され中身の無いキャットフードの箱を空のままのエサ入れに向けて振ると、モニター上にキャットフードがこぼれ落ち、ネコが喜んで近寄ってくる。

体験後はネコのフィリックスと写真撮影ができるほか、フィリックスを家に連れて帰ることができるアプリのダウンロードサービスも行っていた。

フィリックスは、1970年にオランダで発売されたキャットフード。ウェットタイプと食べきりサイズがあり、西ヨーロッパでは最も著名なブランドとして知られている。今回のイベントで画面に映し出されるのは、ブランドと同名のオリジナルアニメキャラクター「フィリックス」。

同イベントは5月23日(土)まで開催された。さらに**6月18日(木)からは、東京の新宿ステーションスクエアでも開催**される。

